

牛走る！！

by ダイエッター1号

我が食検で今年初めて獣医師を目指す学生を対象に、インターンシップ事業を行いました。この事業には5名の学生が応募し参加してくれました。

8月6日から10日までの一週間(正確には5日間)講義、実習、見学とカリキュラムを組み、主に検査所の職員が交代で講師を務めました。最終日には午前中保健所でもお世話になりました。

4日目と5日目には松阪牛飼育農家と食品製造工場の見学も行いました。

今回訪れた松阪市飯南町の栃木さんは、6頭の和牛を飼育し文字どおり丹誠込めて育てているという様子で、平成になって3度共進会で優秀賞1席の榮譽に輝いているまさに牛飼い名人です。栃木さんはわざわざ学生の為に牛舎から外へ牛を放牧場へ放してくれました。



放牧場は牛舎の横のかつて棚田であった田んぼに柵をして放牧場にしており、目測で

すが幅20m長さ50mの広さがありました。

そこへ牛を放した途端、走るわ走るわ本当に嬉しそうに端から端まで何度も駆けめぐっていました。

栃木さんは大サービスと言わんばかりにもう1頭も牛舎から出し放牧場へ入れてくれました。今度は2頭が絡み合うようにしてあっち行きこっちに来としばらく走っていました。

その様子を見た学生は牛が「こんなに牛が早く走るなんて」と目を丸くして驚いていました。



普段は丸々と太りすばらしいサシが入るようにと、牛舎でおいしい餌を食べて、寝てといった具合に過ごしているのに、やはり牛ものびのびとしたところが好きなのでしょう。多頭飼育の農場ではなかなかこうは行かないでしょうね。

ところで、このとき牛が走るスピードはどれ位なのかとふと思い、ちょっと調べてみました。調べるといってもネットでどんなキーワードを入れたら良いかな？ そうだスペインで町の中を大勢の人と何頭かの牛が全速で走り、毎年沢山けが人が出る祭りがあったよなあと、その祭りが出てきそうなキーワードを入れてみました。パンブローナ市で行われるサン・フェルミン祭ということが分かりました。

スペインはマドリッド北東約400Km、フランスとの国境に近いナバーラ県都の首都パンブローナで夏に行われる「牛追い祭り」として知られるサン・フェルミン祭です。

パンブローナの守護聖人サン・フェルミンの日にあたる7月7日から一週間にわたり催されるこの祭りは400年前の記録にも残っているそうです。

テレビのおかげで今では、たぶん世界中の人が牛が人を追っかけている様子を一度は見たことがあるのではないのでしょうか。

この祭りは、見るからに危険で毎年沢山のけが人が出るだけでなく、死者も出ているようです。

祭りが行われる通りは848m、4分弱から2分強でここを走り抜けるそうですから25km/h～40km/h位のスピードということになります。

残念ながら祭りの様子の写真は著作権があるため勝手に持ってくることは出来ません、あちこちのサイトにアップされていますので探してみてください。

ただ松阪牛は肥満傾向にありますから、栃木さんの牛がここまでのスピードが出ていたかどうかは定かではありませんが。。。

しかし国民性とはいえスペインの人達は、闘牛やこの祭りでは牛がある意味主役をを努めていて、このような牛の使われ方は、日本人では考えられないように思います。ほぼ毎日牛に接して仕事をしていますが、牛に対して感覚が「こうも日本人と違うか」と驚くのは私だけでしょうか？